

— 共に生きよう地域の中で —

# し も だ

港北区障害者地域活動ホームしもだ広報誌

第 65 号



### 目 次

- 1面 … 多くの人に支えられて30年
- 2面・3面 … お陰さまで30年  
これからもよろしく  
お願いします!
- 4面 … なかまたち・休みの日②③・  
織り続けて20年



全員集合!

## 障害者の豊かな社会参加をめざして

# 多くの人に 支えられて30年

～ 地域に育む福祉の心 ～



お天気に恵まれて

障害者地域活動ホーム「しもだ」は、30年という節目の年を迎えています。横浜市の小さな福祉の拠点として、幼児から大人の障害者、家族と共に活動をしてきました。

その間、福祉の制度も幾たびか変わりました。現在は「しもだ」「ともだちの丘」「もとみや」「ふれあいの家」の4館でNPO法人げんきとして、力を合わせ助け合いながら活動しています。

それぞれの個性を生かし、より一層充実した活動の場を広げ、頼りになる身近な福祉の場へと、活動を展開しています。



秋まつり・コスモス工房のお店

気持ちの良い風♪  
天気は最高☀️  
大成功!!

活動ホームしもだ  
所長 水越 弘子

地域の皆さまと共に、30年という活動の記念の年を迎える事ができ、大変嬉しく思っております。これもひとえに、しもだを支えて下さっている皆さまのご理解、ご協力のお蔭だと思っております。

その30周年記念のバザーも、大盛況のうち無事に終える事ができ、心より感謝申し上げます。

思い返せば、ふと自分がここに来た時の事を思い出しました。学校を卒業してすぐでしたので、新たな世界



バザー ホップランドにて

に踏み込んでいく不安な気持ちがありました。

けれども所員さん達の笑顔がとても明るくそして素敵で、キラキラしている表情を見た時に、自分に何が出来るかわからないけれど、ずっと関わっていかれたらいいなという、ふわっとした、そんな気持ちからの始まりだったのかなと思います。

現在もあまり考え方に進歩はありませんが・・・。

皆さんの人生に関わる事の大切さや、地域の拠点としての役割を感じながら、これからも障害児・者を問わずに寄り添っていける活動ホーム「しもだ」でありたいと心から思います。

皆さまこれからも、よろしくお願い致します。

**30周年を  
お祝いして**

  
横浜市長  
港北区長  
栗田るみ

港北区障害者地域活動ホームしもだの創立30周年、誠におめでとございます。また、日頃より、障害者の地域生活支援にご尽力いただいていることに、心から感謝を申し上げます。

障害福祉においては、支援費制度に転換して以降、障害のある方の自己決定による地域生活を実現するため、地域生活支援を主眼とした大きな変化が続けております。貴ホームでは、従前より、地域との交流を大切に日々の活動を続けてこられ、本市の障害福祉施策の充実に貢献していただきました。また、一人ひとりに寄り添った支援を行うために、様々な検討を重ね、知恵を出し合いながら支援の

充実を図ってこられたことと思います。港北区としまして、障害のある方にとって、より安心して生活できる地域となるよう、障害福祉施策を進めてまいりますので、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴ホームのますますのご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

手を尽くしていきたいと思っております。活動ホーム「しもだ」の運営委員長になって1年になりますが、振り返ってみますと、まだまだ理解の及ばぬこともあり、大変なことだなどという思いもいたしました。

中に入ってみますと組織運営のことから雇用、人事のこと運営の問題等想像もしない事にぶつかって戸惑っておるのが現状ですが、一歩ずつで良いので、職員のみなさんと力を合わせて改善が出来たらと思います。

活動ホームの最大のイベントは地域交流パザールです。今年も5月20日(日)にご家族や職員の方が中心となり、日吉地区と高田地区の各種団体の方にご協力いただき、総延べ人数530名の

方ポランテアとしてお世話になりました。大きな目標を達成することが出来ました。感謝申し上げます。

**先人に感謝して**

活動ホームしもだ運営委員会  
副委員長 高橋 定雄

昭和63年秋、下田の郷に障害児者の地域における活動拠点として誕生して以来、幾多の苦難を乗り越えて来たのではないのでしょうか。これまでの苦勞された方々に心から感謝申し上げます。

さて、第30回記念パザールがさわやかな五月晴れの中、盛大に開催されました。今振り返って活動ホームとの関わりを思い出してみたい。7年前副委員長であった前下田町自治会会長栗山さんより引き継いで副委員長になり、現在まで歩んできました。

当初、活動ホームについては全く無知で知識もなく

**この1年を振り返って**

活動ホームしもだ運営委員会  
委員長 片野 芳昭

今年で活動ホームは30周年を迎え、創業時の方達のご苦勞は計り知れないものだと思います。

これまでの30年をベースに経営の充実を図っていかなければなりません。特に人手不足の解消を図り人事情での問題の解消を第一と

考えております。

基本的には求人媒体に募集をかけて採用するのが基本ですが、皆様方のお知り合いに福祉に関心のある方や、お手伝いしていただける方を紹介してもらうなど

かリーダーになる人が少ないのが現状で大変苦勞していますので、周囲の協力が大事であります。どうか活動ホームを未永く見守り協力くださいます様に念じて。

「しもだ」の30年の活動はその「贈り物」を生かして、みごとに実を結んでいます。訓練会の皆さんと共に活動し、日中通われている皆さんは多様な障害の方々です。

特に年一度の大規模パザールをはじめ、日常活動の中で、「地域とともにあること」をとても強く意識されていらっしゃると思います。

これまでの30年、時代とともに必要なことをみなさんで創ってこられました。これからは創り、たくさんさんの「贈り物」を積み上げていってくださることと思います。

最後に、運営に関わる障害の方や地域、家族、スタッフの方々など関係する皆様のご努力に敬意を表し、深く感謝申し上げます。

ますますのご活躍を期待してやみません。

今年で活動ホームは30周年を迎え、創業時の方達のご苦勞は計り知れないものだと思います。

これまでの30年をベースに経営の充実を図っていかなければなりません。特に人手不足の解消を図り人事情での問題の解消を第一と

「しもだ」の30年の活動はその「贈り物」を生かして、みごとに実を結んでいます。訓練会の皆さんと共に活動し、日中通われている皆さんは多様な障害の方々です。

特に年一度の大規模パザールをはじめ、日常活動の中で、「地域とともにあること」をとても強く意識されていらっしゃると思います。

これまでの30年、時代とともに必要なことをみなさんで創ってこられました。これからは創り、たくさんさんの「贈り物」を積み上げていってくださることと思います。

最後に、運営に関わる障害の方や地域、家族、スタッフの方々など関係する皆様のご努力に敬意を表し、深く感謝申し上げます。

ますますのご活躍を期待してやみません。

**お陰さまで30年  
これからもよろしくお願ひします！  
ひとりひとりの個性を大切に  
頼れる小さな福祉の拠点として**

理解できなかったため、戸惑いなど、四苦八苦の連続であったが、前理事長薄井さんのご指導によりなんとか今日まで参りました。

中国の詩人陶潜の言葉、「時におよんでまさに勉勵すべし、歳月は人を待たず」を心の糧として、下田町自治会長として活動ホーム副運営委員長の立場で努力してきましたが、まだまだ先人の域には遠く及ばないと思っております。

毎年5月のパザールは、地

域の心ある人達と各団体関係者の協力に支えられて、順調に成長してきましたことを感謝し忘れてはなりません。

活動ホームはパザールなどの行事だけでなく、普段はタッキー・手芸・書道・絵画などの活動に取り組んでいます。また、空き缶つぶしなど創意工夫してみんな楽しくやっています。

反面、指導するリーダーの苦勞は並大抵ではないことを十分に理解してほしい。この職場のみならずなかな

活動ホームは時代とともに運営の仕方や事業内容、建物大きさなど、変化してきたこともあり、

「しもだ」が設置された1988年(昭和63年)は、従来の活動ホームの倍の面積・400㎡が認められた年でした。

活動ホームには変化もありましたが、制度誕生の1989年(昭和55年)から「大切にしていること」は変わることはありませんでした。

「子供から大人まで年齢を超えて、多様な障害の方が活動できること」、「暮らしの中で必要なことをみんなが考えて取り組んでみること」、「地域とともにあること」

活動ホームは時代とともに運営の仕方や事業内容、建物大きさなど、変化してきたこともあり、

「しもだ」が設置された1988年(昭和63年)は、従来の活動ホームの倍の面積・400㎡が認められた年でした。

活動ホームには変化もありましたが、制度誕生の1989年(昭和55年)から「大切にしていること」は変わることはありませんでした。

「子供から大人まで年齢を超えて、多様な障害の方が活動できること」、「暮らしの中で必要なことをみんなが考えて取り組んでみること」、「地域とともにあること」

**地域と一体  
「30周年記念交流  
パザール」に感動**



NPO法人げんき  
理事長 小沢 義雄

皆様にかかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、活動ホームしもだの運営にあたって、運営委員をはじめ地域の皆様に

ご協力を賜り、更には職員の皆様のお陰で、細かな活動に深く感謝申し上げます。

さて先般、十数年ぶりに地域交流パザールにお伺いしましたが、その賑わいに強烈な感動を受けました。

広い会場・熱気・入場順番待ちをする来場者等、まさに地域が一体となつての祭りの印象でした。諸先輩からの伝統の積み重ね、関係者のご努力に深く敬意を表したいと思います。

NPO法人「げんき」で

は、現在四館がそれぞれ活動を展開しています。折々には各館の抱える課題について共有し、必要に応じて協議し、将来の四館の一層の発展に資することが出来ればと存じます。

地域の皆様には、今後共一層のご指導・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。そしてめでたく30周年を迎えた「活動ホームしもだ」の更なるご発展を祈念いたします。

活動ホームは時代とともに運営の仕方や事業内容、建物大きさなど、変化してきたこともあり、

「しもだ」が設置された1988年(昭和63年)は、従来の活動ホームの倍の面積・400㎡が認められた年でした。

活動ホームには変化もありましたが、制度誕生の1989年(昭和55年)から「大切にしていること」は変わることはありませんでした。

「子供から大人まで年齢を超えて、多様な障害の方が活動できること」、「暮らしの中で必要なことをみんなが考えて取り組んでみること」、「地域とともにあること」

活動ホームは時代とともに運営の仕方や事業内容、建物大きさなど、変化してきたこともあり、

「しもだ」が設置された1988年(昭和63年)は、従来の活動ホームの倍の面積・400㎡が認められた年でした。

活動ホームには変化もありましたが、制度誕生の1989年(昭和55年)から「大切にしていること」は変わることはありませんでした。

「子供から大人まで年齢を超えて、多様な障害の方が活動できること」、「暮らしの中で必要なことをみんなが考えて取り組んでみること」、「地域とともにあること」



# なかまたち



## 元気にプール遊び!

毎年夏の時期は、火曜と土曜の活動日ともに、普段は散歩の時間がプール遊びになります。

活動開始前に大小のビニールプールを用意しますが、大人が準備をしていると、子供達もキラキラした目をして駆けつけ、手伝っ

てくれたり遊び始めて服を濡らしたりと、開始前からとても楽しそうです。

プール遊びの時間になると、子供達は待っていませんとばかりにそれぞれの水着に着替え、皆の掛け声と共に準備運動をし、外に出てプールに入ります。

バケツに水を汲みプールからプールへ水を運ぶ子、

ジョウロを片手に水の掛け合いをする子、お花の水やりをする子、おもちゃの水車やポンプで遊ぶ子、プールに寝そべったり頭から水



楽しくプールあそび

# 休みの日

29

高平 香織さん

## ◆楽しいお買い物

コスモス工房に通う日は7時半に起きています。休みの日はとにかく良く寝るようにしています。ゆっくり起きて、ゆっくり朝食をたべて、さあ出発です。だいたいお父さんと車で出かけます。

行き先はブックオフ、トレッサ、ららぽーとです。その日の気分ではかの場所に行くこともあります。

「ブックオフ」一番好きな場所です。ぬいぐるみやゲーム機、CDを安く買います。ふなっしーのグッズは30個くらい集めていますが、売ってあればまた買ってしまいます。いろいろな見て歩くだけでも2〜3時間はすぐに過ぎてしまいます。

「トレッサ」トイレの数が多くてきれいなのが気に入っています。よく行くの

はおもちゃのパーティー、リコ、百円ショップセリアです。

「ららぽーと」イトーヨーカドーのおもちゃ売り場、サンリオショップ、デイズニーストアがいつもの買い物コースです。

もうすぐ2歳になる姪が遊びに来た時には動物園や公園へ出かけます。ズーラシアにも何度か行きましたが、まだよちよち歩きの頃だったのでまた出かけたかと思っています。

## 織り続けて20年

をかぶってニッコニコの子、それぞれのとてもいい笑顔が溢れていました。周りの見守っている大人達も自然に笑顔になります。

プールは夏の暑い日限定ですが、もししばらく子供も大人も楽しめそうです。

コスモス工房の所員、八代俊之さんの個展「八代俊之展」が6月18日(月)から6月23日(土)まで大倉山ギャラリーで開催されました。展示・販売を行いました。連日、会場はたくさんのお客様であふれかえりました。20年織り続けている布さ



自作の反物をバックに、はた織りをする八代さん

き織りの反物は、長さも色合いもさまざまに、加工されたバッグやポーチとあわせて、会場を彩りました。織り製品の他に、八代さんがこの展示会のために特別に作ったピースのネットレスの展示も(普段八代さんは日中活動でピース制作はしていません)。

ご本人も一週間かれんに在廊し、実際にはた織りをしてる姿を披露しました。

◇ご寄付をいただきましたありがとうございます

柏倉建設(株)様、梅沢様、仲田パートナーズ様、明治神宮崇敬会様、日吉地区社会福祉協議会様、佐藤正明様、塩原様、山極洋子様、山田和洋様、田中菊子様、またバザーでは多くの皆様からご寄付・ご提供品を頂きました。ありがとうございました。

港北区障害者地域活動ホーム

「しもだ」

運営委員長 片野 芳昭

〒224-0001 横浜市港北区下田町

六三三-118

☎045-562-3360

FAX045-562-5991

編集発行 広報部